

いつも全力！大切な宗像のために。議員活動報告書

アベママガ



宗像地区消防本部庁舎について

令和6年2月15日、事務組合の議員として一般質問を行いました。

質問したこと何が判ったの？

- ①今年度末で築49年目を迎える本部庁舎の一部が耐震性能の指標値に課題があること
- ②財政的な課題もあつて建て替えの方針決定までに既に5年が経過していること
- ③本部庁舎が完成するまでには、用地買収や適地調査分析検討の期間以外に5年程度必要となること

それでどうしたの？

「もしも、庁舎完成までに宗像地区において震度6強の地震が発生し、災害拠点である消防本部の施設が損

傷し消防機能に支障が生じ、救える命が救えなかったという事になった場合、誰が責任をとるのでしょうか。

消防行政は命を救うためにあるということ認識し、少しでも早く建て替えができるように協議が進むように努力し行動するのが組合長、副組合長の責務ではないでしょうか。」と指摘した上で、早急に建て替えのための準備費用や調査費用を予算化していただきたいと当時の原崎智仁組合長（福津市長）に訴えました。

その意図は？

私は建築士です。建物を建築するためには「どこに建てるのか？」の議論が重要であり、そのためには土地の状況を調べる必要があります。それは客観性やノ

その結果はどうなったの？

令和6年10月8日の議会において、令和6年度補正予算案として鑑定業務委託料154万円が上程され、議会において可決しました。

ウハウの視点から民間に委託（予算化）する必要がある。ですから、まずは調査のための費用を予算化させることが本部庁舎建て替えのための初めのステップだと考えました。

その後はどうなったの？

令和6年5月21日議会連絡会において、それまでの組合長の答弁を整理確認したうえで、改めて発言の場を頂き再度調査準備費用を早期に予算上程していただくことを要望しました。

私の所感

私、この質問を令和5年12月（宗像市議会閉会直後）に作成していましたが、翌令和6年元日に能登半島沖地震（震度6強）が発生したことによって、多くの国民が能登半島への想いと同時に、災害を自分事として捉えるようになっていた状況で、この質問を行うこととなりました。

高規格救急車の寄附について

また、原崎組合長（現副組合長）と伊豆副組合長（現組合長）も消防本部庁舎の機能が喪失されないための対策について、一つの判断材料にしていただけたのではないかと思えます。

その後はどうなったの？

令和5年7月に、私の議会活動報告書「アベマガ」に掲載していた寄附の記事を読まれた市民の方から、奥様が生前に救急車にお世話になったことから「救急車を寄附したいのですが」とのご相談を受けました。

伊豆組合長、原崎副組合長、執行部、議会議員の皆さま予算化を実現していただいたことに対して心より感謝を申し上げます。

消防本部庁舎について

は、2月の議会でも一般質問を行う予定で準備を進めております。建築関係者という専門的な知見を生かして取り組んで参ります。



宗像地区消防本部

高規格救急車の寄附について

また、これまで使用してきた救急車については「ウクライナに寄附することができませんか」とのご要望もいただきました。

御本人様、ご家族様、事務組合と慎重に協議を進め、議会での議決を経て令和6年10月11日高規格救急車（国内第一号のこと）が寄贈され、これまで使用してきた救急車についてもウクライナに寄贈されることとなりました。（令和6年11月11日横浜港を出港しています。今後、令和7年1月11日にベルギーから陸路を通りウクライナへ運ばれる予定です。）

議員の仕事の一つである議会活動の発信がきっかけとなり、市民の命を守る救急車の導入につながることとなりましたので、ご紹介



寄贈式にて伊豆市長と

9月議会3期目最後の一般質問

豪雨災害について

雨水管理計画の前倒しを市長が決断して下さいました。安全安心まちづくり基金の創設及び災害見舞金など提案した被災者支援メニューについて前進していることを確認できることができました。

また、抜本的な対策について調整池などの検討についての要望も致しました。地元田久水害対策期成会の方が傍聴にお越しになられて「代弁をして下さってありがとうございます」とお礼の言葉を賜りました。

鉄道を生かせるまちづくりについて

赤間駅の降りエスカレーター設置と自由通路の改修工事について設計予算が上程され、空きテナントの誘致や赤間駅周辺の活性化のために必要なホテルやマンションの誘致検討も進むことに期待します。

宗像市のまちづくりにおいて、JR九州などの企業とパートナーシップ、お互いに必要とされる関係性の構築がとても重要だということを訴えました。

9月議会3期目最後の一般質問

豪雨災害について

雨水管理計画の前倒しを市長が決断して下さいました。安全安心まちづくり基金の創設及び災害見舞金など提案した被災者支援メニューについて前進していることを確認できることができました。

また、抜本的な対策について調整池などの検討についての要望も致しました。地元田久水害対策期成会の方が傍聴にお越しになられて「代弁をして下さってありがとうございます」とお礼の言葉を賜りました。

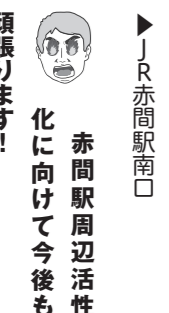
鉄道を生かせるまちづくりについて

赤間駅の降りエスカレーター設置と自由通路の改修工事について設計予算が上程され、空きテナントの誘致や赤間駅周辺の活性化のために必要なホテルやマンションの誘致検討も進むことに期待します。

宗像市のまちづくりにおいて、JR九州などの企業とパートナーシップ、お互いに必要とされる関係性の構築がとても重要だということを訴えました。



田久交差点付近の水害状況（住民より提供）



JR赤間駅南口 赤間駅周辺活性化に向けて今後も頑張ります！



市役所にて伊豆市長と会派メンバー

11月27日 作業を進めてまいりました要望書が完成いたしました。県道や河川整備事業の他、商工、漁業、農業、観光団体様から頂いた要望事項を取りまとめいたしました。今後、井上正文県議から福岡県の方に提出していただきます。

取りまとめに際してご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝いたします。

11月29日

伊豆市長と宗像志政クラブとの意見交換会を行い、会派で作成しました令和7年度予算に対する要望書をお渡しいたしました。

この活動は令和4年度から毎年行っており、これまでもいくつかの要望を実現することができました。今回は公共交通施策に関する予算措置を要望いたしました。

1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。 学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

あべ よしひで 安部 芳英



- 宗像大社氏子青年会 監事
- 遠賀・宗像食品衛生協会 相談役
- 東海大福岡高校吹奏楽部後援会 相談役

これまでの主な肩書き(元職)

- (公社)福岡県建築士会防災部会 副部会長
- 宗像地域会 副代表
- 婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON 代表
- 青少年育成活動 宗像少年の翼 会長
- 田久公民館 館長
- 田久わんぱくアンビシャス広場 代表
- 宗像市立城山中学校 PTA会長
- アドベンチャーMUNAKATA 顧問
- 城中応援団(PTA支援) 顧問